

# 狭山の新証拠分析から

~狭山事件を識字研究発展の立場から捉える~

日時: 2022年 2月 26日 (土) 13:30~16:00

この公開研究会では、狭山事件を「識字」という観点から論じ、捜査や裁判の過程にある問題を追究します。検察から開示された新証拠にもとづいて、いろいろな点が明らかになりました。

たとえば、逮捕当時の石川一雄さんの文章には、句読点(点や丸)がほとんどありませんでした。

その一方、実際に使われた脅迫状は、ほぼ完璧に句読点を使いこなしています。また、当時の石川さんはひらがなも満足に書けませんが、脅迫状では、使う漢字の音や意味をわかったうえで当て字を用い、被害者を意図的に、より脅迫しようとしています。

森実・鑑定書では、1955年に日本政府が実施した「国民の読み書き能力調査」の報告書を参考に、こうした点を説き起こしています。この調査は、石川さんを含む世代の人たち(当時の15-24歳)の読み書き能力をていねいに調査・分析し、調査対象者のなかで十分な読み書き能力をもたない人たちが5-7割に達していたことを示しました。

ぜひ一緒に、狭山事件と識字問題の関わりを考えてみませんか。

**【実施方法】会場実施+オンライン配信 (Zoomミーティング)**

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはオンライン開催のみとします。

**【会場】住吉住宅集会所 (大阪市住吉区帝塚山 東5-6-1)**

南海電車「住吉東」駅下車、北東へ約300 m

**【定員】会場参加 30名 (先着順)**

**【参加費】無料**

**【申込締切】2月24日 (木)**

もり みのる  
**報告者 森実**

識字・成人基礎教育研究会代表  
おおさかきょういくだいがくめいよきょうじゅ  
大阪教育大学名誉教授

## 申込み方法・問い合わせ先

●下記URL・右記二次元バーコードより、フォームにてお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S43342951/>

※申込みフォームをご利用できない方は、下記事務局宛に、①名前、②所属、③メールアドレス、④希望される参加方法(会場参加またはオンライン参加)を添えてメールまたはファックスでお申し込みください。オンライン参加を選択された方には、お知らせいただいたメールアドレス宛に、前日の17時までに資料・参加アクセス情報をお送りします。



**【事務局】(一社) 部落解放・人権研究所**

(メール: [kenkyubu@blhri.org](mailto:kenkyubu@blhri.org) ファックス: 06-6581-8540 電話: 06-6581-8572)